

①

国を繁栄させて幸せになるには、
戦後幕藩体制を打破して、バブル崩壊からの
失われた20年を取り戻すべきだ。
キーワードは「依存から自立へ」。

家庭を守らない親が尊敬されないように、
自国を自ら守れない国は他国から尊敬もされないし、
いつまでたっても自立できない。

自分たちの手で国を守ることを考えるべきである。

年金や医療制度をそのまま運営していくと、
借金でいずれ国が破綻するのは目に見えている。
自立を基本としたものに
根本からつくり変えなくてはならない。

また税制も見直して、
ボーダーレス化した時代に合わせるのだ。
国民や企業から国が選ばれる時代に合わせて、
世界からいろいろな人と企業が集まる国をつくろう。
そう、いま必要なことは開国だ。

かつて疲弊した幕藩体制を覆し、
開国によって明治維新を成し遂げたのは、
志のある名もないサムライたち。
彼らは志士と呼ばれていた。

身分制度のない現代の民主国家では、
戦後幕藩体制を打ち倒すのはサムライではなく国民。
いまこそ志のある国民、志民による
新しい国づくりを始めるときが来た。